

事業所名

放課後等デイサービス どんぐり

支援プログラム

作成日

令和6年

3月

25日

法人（事業所）理念		私たちはどんぐりが成長することがよりよい日本の福祉社会をつくる力になると信じています					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション支援の専門性を活かした特別支援</li> <li>・「伝えたい」、「わかる」経験を通じた自己肯定感の育成</li> <li>・遊びや日常活動を通して自然に学べる支援環境の提供</li> </ul>					
営業時間		11時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活や集団生活に必要な衛生習慣の自立支援 手洗い・うがい・ハンカチ使用など</li> <li>・年齢や発達段階に応じた食事のマナー、落ち着いて食事をとるためのアプローチ</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活や学校、集団活動へスムーズに参加できるよう、身体の使い方や運動能力の向上を支援 基礎運動能力を育む運動遊び（サーキット、風船バレー、外遊び、ボール運動等）</li> <li>・手先の器用さを養う活動（クッキング体験、工作、パズル、折り紙など）</li> <li>・感覚の過敏さや鈍さに配慮し安心して取り組める環境作りと個別支援 落ち着けるスペースの確保、音や触覚などの過敏性への個別対応</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況を理解し自分で考えて行動できる力を育み、学校生活や日常場面で自立して取り組める活動の幅を広げる。 視覚支援、構造化、活動場面での主体性の促し</li> <li>・勉強や集団生活に必要な集中力、注意力、記憶力などの力をそだて、学校での活動に取り組みやすくする 遊びや課題を通じた高次脳機能トレーニング（間違い探し、カード記憶、ルールのあるゲーム、ワーキングメモリを使った活動）</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちや考え、欲求を状況に応じて適切に伝えられる力を育て、対人関係や集団でのやりとりがしやすくなるように支援する。 ST（言語聴覚士）による言語・コミュニケーション支援（語彙拡充、感情表現、質問への返答練習、発話の明瞭化、聞く力や理解力の支援）</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や社会生活における対人関係に必要なスキルを身に着け。友達や周囲の人と円滑にコミュニケーションがとれるように支援する SSTによる相手の気持ちの考え方や伝え方、順番やルールの理解、買い物や地域への外出を通じた社会的マナーの獲得、集団活動を通じた協調性の育成</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での悩みごとの共有：保護者会の実施</li> <li>・定期的な施設で様子の報告：STによる現状の介入目的や訓練内容についての説明</li> </ul>			移行支援	学校、他事業所との連携	
地域支援・地域連携		通学先の学校と連携を図り、子どもの様子や発達状況に関する情報を共有し、困りごとなどを知る			職員の質の向上	定期的な職員会議の実施 職員の各種勉強会や研修の参加	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>季節の行事を積極的に取り入れて、仮装をしたり、行事のテーマにあったゲームを取り入れることにより文化や伝統に触れられよう提供している</li> <li>外出：子ども食堂やマクドナルドに行って公共の場で食事のマナーや楽しむなどの経験を増やしている。動物園、下水道科学館、防災センターなどに行き、体験することで探究心や知的好奇心思考力を育む</li> <li>制作：指先を使うハサミ、のりなどに触れ作る楽しさや出来た喜びを体験する</li> <li>おやつ作り：おやつ作りを通して食材、料理器具の名前、どのように作られているかなどを知ったり、おやつへの興味が深められるようにする</li> </ul>					